

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	リウマチ・アレルギー対策費	事業開始年度	平成13年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	疾病対策課	疾病対策課 難波 吉雄		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計 画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	リウマチ、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症等のリウマチ・アレルギー性疾患患者は国民の30%に上ると言われており、患者数や国民の関心も高い重要な問題となっていることから、地域における相談体制の整備をするために、リウマチアレルギー相談員養成研修会を開催し、患者・家族ひいては国民一般からの悩みや不安の解消を図る。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	①都道府県の保健師を中心とした相談員養成研修会を実施し、相談員の人材育成及びスキルアップを図る。 ②研修会を通じ疾患の重症化防止や自己管理を促し、広く国民のに対する正しい知識の普及啓発へつなげる。					
実施状況	リウマチ・アレルギー相談員養成研修の実施(平成21年10月開催)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	7	7	7	5	4
	執行額	7	7	5		
	執行率	100	100	71.4		
	総事業費(執行ベース)	7	7	5		
自己点検	支出先・ 使途の把握 水準・ 状況	支出先・使途の把握については、官庁会計システム(アダムス)により把握している。 ※本事業は直接、国からリウマチアレルギー相談員養成研修会開催に対して、必要経費(諸謝金、印刷製本費、会場借料等)を支出しているため、「資金の流れ」欄及び「費目・使途」欄の記述を省略。				
	見直しの 余地	平成22年度において、事業の見直しを行った結果普及啓発事業を廃止とし、平成22年度予算は5百万円で対前年度71%(▲2百万円)となっており、これ以上の削減は事業に支障を来すことから困難である。				
予算   監視 の 所 効 見 率	一部改善(執行状況を予算要求に反映)  リウマチ・アレルギー対策費について、予算効率化の観点から検討会開催数の縮減を図ること。					
補 記	リウマチアレルギー相談員養成研修についてはこれまで東京開催であったが、地方都市での開催要望が多くあること等を踏まえ、相談員がより参加しやすい形になるよう工夫の上、引き続き実施していく。					